

小1プロブレム解消のための指導方法等の工夫について

下関市立熊野小学校

学習環境の整備

新一年生が新しい学校生活になめらかに移行できるように、幼稚園や保育所との情報交換や児童と園児、そして地域の方との交流の機会をより多くもてるように工夫する。

児童と園児の交流



1年生からやさしく分かりやすく遊びのルールを教えてください。



初めと終わりにきちんとあいさつして学習規律を学びます。



コマを上手に回すコツを、1年生や地域の方から教わります。

生活科「昔遊び」の学習の中で交流する。

成果

学習や学校生活について体験してもらうために、いろいろな機会に園児の学校訪問を行っている。その中で学校のことを体験しながら、学校生活に慣れていくことをめざしている。

また、1年生が園児に寄り添いながら教えたり、一緒に学習したりすることで、学校をさらに身近に感じることができた。

具体的な取組の内容(2)



給食の準備、片付けは、小学校のやり方に徐々に近づけていることを知りました。



きちんと席に着き、先生の方を向いて話を聞く時間を増やしています。

夏季休業中に教職員が保育の様子を知る。



就学前の取組を確認しながらなめらかな接続をめざします。

成果

夏季休業中に、近隣の2つの幼稚園と1つの保育所を訪問し、保育の様子を見学した。特に年長のクラスでは、小学校生活に向けて持ち物の管理、椅子の座り方や話の聞き方、給食の準備などを小学校のスタイルに近づけていることを知ることができた。なめらかな接続のために情報交換を実践的にすることができた。